



置かれた場所で咲く

校長 板見 剛
副校長 森 敏樹（作成）

2学期に心がけてほしいこと

『声を出す・声を聞く・声をかける』

【生徒の皆さん】

2学期が始まって3週間が過ぎようとしています。夏休み明けは、ついだらだらとしがらですが、どの学年からも落着きのある雰囲気伝わってきます。2学期始めのメッセージを、皆さんがしっかり受け止めているものと捉えています。その皆さんの姿勢を、大変うれしく思います。

さて、始業式で校長先生は、「2学期は目標を立て、ひたすら努力すること、そして互いに感謝の言葉やあいさつを交わすことで、心の成長と人間関係を築き、充実した学校生活を送ってほしい」という話をしました。その中にある「感謝の言葉とあいさつ」という点について、今回は特に皆さんに心がけてほしいことを記します。

これから長与中学校を、そして皆さんの学級、そして部活動などが、さらに活気があり、居心地のいい場とするために、大切にしてほしいことは、『声』です。具体的には、『声を出す・声を聞く・声をかける』ということです。

『声を出す』

まず、互いに交わす「あいさつ」があげられます。例えば、朝起きた時の、家族への「おはよう」のあいさつから始まり、授業中の始めと終わりや部活動でのあいさつなど、いろんな場面で声を出す機会があります。はつらつとしたあいさつは、全体に活気をもたらし、場の雰囲気も引き締まります。あいさつをされた側も元気な気持ちになります。校歌や合唱コンクールの歌声も、当然含まれます。みんなで声を出し合うことで、その学級でしか出せないハーモニーがあります。これも、「声を出す」ことで実現します。また併せて、相手の人に対し「ありがとう」と感謝の言葉を伝え合うことも、大切にしたいものです。



『声を聞く』

「口は1つ、耳は2つ」という言葉があります。「自分が話すことの2倍、相手の話を聞こう」という意味だそうです。ついつい、自分の言いたいことをわかってほしいがために、自分の言いたいことばかりを先に話しがらです。さらに、自分が言いたいことが言い終わったら、すっきりして、そのあとの相手の話が耳に入らないということもあります。

先に書いたこの言葉は、コミュニケーションにおいて、「聞くことの重要性」を説いています。学校生活の様々な場面で、クラスメイトやチームメイトと、意見を出し合い、力を合わせる場面がでてきます。そのような場でも、ぜひ心がけてみてください。さらに相手の人との仲をさらに深め、今以上にチーム力が高まることと思います。

『声をかける』

毎日元気でいることが望ましいですが、そんな日ばかりではありません。時には、気持ちが沈んでいる日もあるでしょう。そんなとき「どうした？元気なかね」、「いつでも相談のるよ」など、周りの人からの一言をかけてもらい、とてもうれしかった経験があります。

すでに、そんな声かけを心がけている人もいます。もし学級や部活動などで、いつもと違ってふさぎ込んでいる人がいたら、声をかけてみましょう。あなたの一言で、元気になる仲間がきっといるはずです。

新しく着任しました

9月11日（木）から着任した新しい職員についてお知らせします。授業や行事等で、生徒への個別の支援を担当します。

永松 三保子 特別支援教育支援員